



茶内小だより



茶小の教育目標 ○思いやりのある子 ○自ら鍛える子 ○進んで学ぶ子

◇茶内地区サポーター^{まだ}募集中◇

茶内地区の子供達の学びを充実させるためのサポーターを募集しています。

12月は先月に引き続き「一緒に運動できる方(4年生)」「九九暗唱(2年生)」にご協力いただける方を募集中です。

「おもい」に寄り添って

「思い」～ある物事について考えをもつこと。願い。思慕の情など

朝、児童玄関前で、登校してくる子供たちとのやり取りが楽しい日課となっています。薄着で駆け込んでくる子供と「寒いっしょ?」「寒くないです!」という会話や、木から落ちてカラスに狙われているシマフクロウを発見し興奮気味な子供たちとのやりとりなど、色々な面白さがあります。そんな中、玄関ドアの開け閉めについて嬉しく思ったできごとがありました。いつもは、バス降車後の混雑で誰がドアを閉めるのかが曖昧になり、私が声をかけて閉めていましたが、4・5・6年生の子供たちが、低学年の子が玄関に入るのを待って、最後に閉めてくれる姿が多く見られるようになりました。上級生の思いやりのある行動に清々しい気持ちになります。また、自分から挨拶できる子が増えたように感じます。バスから降りてきた子と、歩いて登校してきた子が玄関で合流した時の、何気ない「おはよう」という挨拶もまた子供の思いがにじみ出て嬉しい気持ちになる瞬間です。

「想い」～思いよりも深い感情。特別な感情。

「総合的な学習の時間」では、「Things I can do for my familiar area(ふるさとのためにできること)」をテーマに3～6年生それぞれが創意工夫を凝らし探究学習を進めています。特に6年生は、「茶内未来プロジェクト」と題し、例年、発表会を学習のゴールに位置付けた内容となっています。今年は折よく、「茶内地区ふれあい広場再整備事業」とタイミングが重なり、子供たちの茶内の未来に対する想いを実現させる大きなチャンスとなりました。浜中町の大きな事業ですから大人の事情もあります。ですが、主権者であり未来の茶内を引っ張る6年生の想いがつまった公園づくりは、「ふるさと浜中町を愛する人づくり」の一歩となるに違いありません。子供たちは、役場の方や設計会社の方との授業、校内アンケートの実施、まちづくり著名人との出前授業など、茶内のためにできることを真剣に考え、学習を深めてきました。子供の熱い想いに向き合ってくださった、関係者の皆様には本当に感謝申し上げます。本稿を目にされる頃には発表会は

校長 南 卓也

終わっていると思いますが、地域・保護者の皆さまには、今後の再整備事業の進捗と子供たちの関わりにご注目いただけたらと思います。

「重い」～目方が多い。程度がはなはだしい。心が晴れ晴れしないなど

コロナ禍の学習保障をきっかけに全国一斉に始まった一人一台タブレット端末を活用した学習の充実ですが、10月末からタブレット持ち帰り学習の試行を行っています。浜中町教育委員会によるタブレットドリルの試行事業に合わせて実施しました。今後は、試行の成果と課題を明らかにし、日常的な持ち帰りや、使用ルールの確認、活用した学習の工夫などに取り組んでまいりますが、実は一番の課題は「重い」ことと感じています。教科書が厚くなり置き勉が話題になったのは数年前ですが、タブレットを持ち帰るとかなりの重量です。置き勉ルールの見直しも必要になっています。その際のキーワードは自己決定力・自己調整力の育成です。置き勉の可否を一律にするのではなく、一人一人が必要な学習道具を判断し、学びを調整する力を養うきっかけにできる、そんなルール作りを検討したいと考えています。

「念い」～思い・想いよりも強い意志・信念・願望など

11月も終わりを迎え、いよいよ師走を迎えます。各地でインフルエンザ流行のニュースが流れています。残り1か月弱の2学期をなんとか元気に乗り切りたいと強く願うとともに、児童の思いや保護者の皆さまの思いに寄り添いながら、校長の念いも積極的に発信していきたいと思う毎日です。そして、一人一人の思いを知る機会となる「学校評価アンケート(12月)」を実施します。7月同様、安心メールにてQRコードとURLをお知らせしますので、Googleフォームでのご回答をお願いいたします。補足ですが、7月アンケートで「給食について子供たちの意見をきいてほしい。」とのご意見をいただきました。そこで、浜中町の栄養教諭と相談し、全学年で実施している食育の授業の中で子供たちの感想などを聞くことになりました。貴重なご意見ありがとうございました。



12月行事予定

日	曜	学校行事・PTA行事など
1	月	S C 来校日⑧(午前) ※自転車乗りは既に禁止しております。チャレンジテスト～17日
2	火	学力調査①
3	水	学力調査② 朝の読み聞かせ 縦割り班清掃
4	木	
5	金	厚浜木材見学(3年) 食に関する指導(4年) 定時退勤日
6	土	週休日
7	日	週休日
8	月	図書返却期間～12日 跳び箱ウィーク(全校で「体育」の時間を中心に取り組みます)～19日
9	火	中学年跳び箱タイム(わくわくタイム・希望者) 食に関する指導(5年)
10	水	朝の読み聞かせ 職員会議
11	木	高学年跳び箱タイム
12	金	低学年跳び箱タイム 児童委員会⑨ 定時退勤日
13	土	週休日
14	日	週休日
15	月	図書貸出期間～19日 中学年跳び箱タイム
16	火	低学年跳び箱タイム
17	水	朝の読み聞かせ 歯科指導(2、4年) 縦割り班清掃 校内研修
18	木	高学年跳び箱タイム 歯科指導(3、5年)
19	金	歯科指導(1、6年) 2学期末清掃 定時退勤日
20	土	週休日
21	日	週休日
22	月	2学期末清掃
23	火	2学期終業式(水曜時程) 大掃除
24	水	冬季休業(～1月15日) 茶内小中連携合同研修
25	木	冬季休業 どさんこ☆浜中地区子ども会議
26	金	冬季休業
27	土	冬季休業
28	日	冬季休業
29	月	冬季休業 学校閉庁日
30	火	冬季休業 学校閉庁日
31	水	冬季休業 学校閉庁日

あきのたからものランド（1年生）

1年生が、生活科で学校周辺を探検した時に集めたどんぐりや葉っぱを使っておもちゃをつくり、遊んでもらうためのお店「あきのたからものランド」を開きました。

11月6日（木）は6年生を招待しました。お兄さんお姉さんが上手に遊んでくれて、1年生も大喜びでした。11月11日（火）は2年生を招待しました。遊び方の説明もさらに上手になり、2年生は楽しく遊ぶことができました。その様子を見ている1年生も大満足でした。

3学期の「1日入学」でも園児のおもてなしはばっちりですね!?



中学校登校（6年生）

11月13日（木）、6年生が朝から茶内中学校へ登校し、丸一日中学校で過ごしました。中学生になった時にどんな一日を過ごすのか実感するための小中連携の取組です。学習内容はいつも通りの6年生の内容ですが、5時間中3時間は中学校の先生が授業をしてくださいました。最初は少しだけ緊張気味だった子供たちも1日が終わるころには「中学校がどんな場所か分かって安心した!!」

英語では、普段接することのない眞野先生やローガン先生にこれまでの学習を生かして英語で自己紹介をしました。

「今から楽しみになった!」と中学校生活への不安を解消し、今から待ち遠しく思う様子が見られていました。



図工（美術）では、吉住先生をモデルにデッサンをし、絵をうまく描くコツを伝授していただきました。



社会では、高根沢先生と江戸幕府の政治を振り返り、どの政策が最も効果的だったか自分の考えを明らかにしました。



研究授業&トヨタ未来スクール（5年生）

11月12日（水）、学校教育指導（計画訪問②）がありました。釧路教育局指導主事と浜中町教育委員会指導室長が来校し、5年生の算数の研究授業を視察されました。北海道と秋田県の混み具合を比較し、「人口密度」について熱心に協議する様子をご覧いただき、「自分の考えについて、既習事項をもとに明確な根拠をもって交流する姿が大変すばらしい。」とご高評をいただきました。



また少し前の話ですが、10月24日（金）に社会科の学習の一環で、トヨタモビリティ釧路さんを講師にお招きし、「トヨタ未来スクール」を行いました。自動車ができるまでの工程だけでなく、電気自動車の役割や未来の乗り物・街づくりについてなど様々な視点から学びを深めることができました。



茶内未来プロジェクト（6年生）

6年生の総合的な学習の時間では、「茶内未来プロジェクト」と題し、今後整備が予定されている茶内「ふれあい公園」について、自分たちなりの理想の公園像を考える学習をしています。



10月28日（火）には、町役場企画財政課ふるさと創生係の方々や担当企業の高野ランドスケープさんに、自分たちの考えをプレゼンし、質問や感想をいただきました。



また、11月20日（木）には、複業先生を活用したオンライン授業を行い、北海道出身のデザイナーの方に、地域を盛り上げるためのアイデアや公園のデザインに係る多様な視点について、地域起こしやデザイナーの目線からアドバイスをいただきました。

これらの学習の成果は、27日（木）の参観日にて発表予定となっております。先述のふれあい公園再整備事業関係者の方々も来校予定です。どのような発表が聞けるのか、とても楽しみです。

「いじめ」について②

10月に実施しました「いじめアンケート」（2回目）の結果をご報告します。

「4月から今日までに嫌な思いをしたことがありますか」「友人が嫌な思いをしているのを見たり聞いたりしましたか」との設問に、下記のとおり回答がありました。

嫌な思いをしたことがある →24名

見たり聞いたりしたことがある →37名

この結果を踏まえ、担任による教育相談の実施、いじめ対策委員会の開催により、20件のいじめを確認いたしました。学校としていじめの対応を組織的かつ迅速に進め、関わりのある児童へのサポートやいじめ解消に向けた取組を早急に行うことができました。

今回の回答の多くは、休み時間等における悪口、仲間はずれ、たたく、ちょっかいなどであり、相手の気持ちをうまく考えることができていない場合にこのような行為につながっているケースが多いことがわかりました。

そこで、11月17日（月）に臨時の「みんなの広場」を行い、教頭が「いじめ」についての講話を行いました。どの学年の子供たちも、いじめをなくすために自分たちができることについて真剣に考えてくれたようです。



今後も、地域・家庭と連携し、いじめの芽を見逃さないようアンテナを高くして子供たちの様子をしっかりと見守りながらどの子も安心して登校できる学校づくりを進めてまいります。ご家庭でも、お子さんの様子で気になることがありましたら、すぐに学校までお知らせいただきますようご協力お願いします。